

平成19年度

# 建設部会

活動報告

平成19年 5月 25日(金)

(社)日本技術士会東北支部建設部会

# 建設部会活動方針

## 1.) 会員定義

建設部門に合格した技術士会員及び準会員の全てを対象としている。

## 2.) 部会目的

- 1) 技術士の社会的地位向上を図る。
- 2) 技術士の職業倫理の確立。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 地域社会への貢献と部会員の親睦

## 3.) 方 策

目的の達成には、県技術士会・他の部会・他組織団体と交流・連携を図る。

# 18年度建設部会活動

## 1.) 研修会

- 1)、多様な入札契約に於けるCM契約
- 2)、仙台地下鉄東西線の概要と課題
- 3)、ITS研究会の勉強会

## 2.) 見学会

秋田中央道路見学会（秋田県技術士会・青年技術士懇談会共催）

参加者：合計66名

## 3.) 懇親会

- 1)、ゴルフ愛好会 7月、11月
- 2)、忘年会 12月 参加者25名

# 第1回研修会

## 「多様な入札契約制度に於けるCM契約」

講師：国土交通省東北地方整備局 河川調整官渥美雅裕氏

期日：平成18年6月2日(金) 参加者：62名

内容：

- 、CMの問題点として、「契約図書の範囲」、「マネジメントの費用対効果」、「権限の拡大、責任の範囲」等に課題がある。
- 、CMに参入するには『技術士の社会的評価』が必要である。
- 、最近、『すみわけ論』が議論されている。WTO対象以外(24億)は地元企業、大手はCMに参入するという議論です。CM手法はまだまだ目を離せない方式である。

## 第2回研修会

# 「仙台地下鉄東西線の概要と課題」

講師:仙台市交通局建設本部長 高橋秀道氏

期日:平成18年11月22日(水) 参加者75名

### 内容

- 、総合交通体系における地下鉄の位置付・必要性の説明。
- 、営業区間は動物園から荒井駅まで13.9km。事業費は2735億円、開業は平成27年度の予定です。
- 、現在の南北線断面より約60%に縮小した。それによって近年の地下鉄工事では最も安い1km当り190億円である。又、昨年の入札直後の研修会だったので、低入札価格に対する質問が相次ぎました。

# ITS研究会の発足



1. 建設部会及び電気・電子部会とでITS研究会を  
発足させた。
2. 目的：「ITSの有効活用」による新たなイン  
フラ整備

# ITS 研究会活動報告(1)



1. 平成18年3月28日:宮城県経済産業部吉田課長等に、一緒に勉強したい旨を伝えた。

2. 第1回勉強会:平成18年7月25日 場所:県庁15F

講師:国交省東北地方整備局 道路部 石津健二氏

演題:「ITSに関する国の取り組み及び最近の動向」

出席者:宮城県経済産業部、土木部 10名

日本技術士会東北支部 5名 計15名

内容:初歩的勉強会であるが、ITSは国家戦略的な位置付けであることを確認した。

# ITS研究会活動報告(2)



4. 第2回勉強会：平成18年9月8日

講師：経済産業省製造産業局 自動車課長補佐  
浜坂隆氏

鹿島建設(株)土木設計部担当部長 吉田正氏

演題：「ITS産業の発展に向けて」(浜坂氏：自動車)

「ITSと社会資本整備について」(吉田氏：建設)

場所：自治会館 2F (宮城県が費用負担及び人選)

出席者：国土交通省企画部、道路部 調整官等 3名

宮城県経済産業部、土木部、企画部 10名

技術士会9名、メーカー他29名、 合計51名



# ITSの問題点



1. ITSは10年前100兆円産業として、華々しくデビューした。しかし、ETC以外に本格的事業は見当たらないのが現状。

2. ITSには供給者側に「道路管理者」、「メーカー」、需要者側に「道路利用者」、「一般国民」がいる。それぞれ利害が異なる。そのため方向が見えにくいのが現状です。(車載器がないと恩恵がない)



スマートIC(インターチェンジ)  
The First Concept of Smart Interchange



# ITSの今後の取り組み方



1. 今、国では社会経済全般のイノベーション(変革)を推進しているが、ITSはそれを実現させるための重要なツールである。それらについて調査・研究する。

## 2. 東北の実情に即したITSの活用

、路面凍結、降雪、吹雪等の冬季交通の定時性確保への検討

、仙台では泉中央駅前、定禅寺通り等のタクシーによる渋滞、違法駐車に苦情が発生している。これらにITSを活用出来るか調査・検討。

、防災への活用

# 秋田中央道路 現場見学会

1.場所:秋田市

2.発注者:秋田県秋田中央道建設事務所

3.日時:平成18年10月20日 参加者66名

4.工事内容

目的:秋田駅東西間の交通渋滞緩和

道路規格:第2種第2級 L = 2.550m

工法:泥水シールド 直径12.400mm 東北最大

5.質疑応答による見学会

事前に30項目の質問を建設事務所に提出した。それに対し、見学会当日では秋田県とJV関係者から丁寧な回答いただいた。特に「設計・施工一括発注方式」等多様な契約方式を見学した。また秋田県技術士会のきめ細かい支援によって、非常に有意義な見学会となった。























平成19年度  
**活動計画**

**建設部会**

平成19年 5月 16日(水)

(社)日本技術士会東北支部建設部会

